

原稿作成例

1. 表紙の作成方法

<原著論文> 一般論文（短報論文や技術報告の場合はその旨記す）

<表題> 製茶加工残さ給与が肥育豚の枝肉および肉質に与える効果

<著者名> 坂井隆宏・安田みどり¹・武富和美¹・大曲秀明・河原弘文・宮崎秀雄²・式町秀明
（氏名の日本語表記が日常的でない著者についてはアルファベットで記述する。その際姓は全文字ともに大文字標記とする）

<所属機関名> 佐賀県畜産試験場
¹西九州大学健康栄養学科
²佐賀県茶業試験場

<略表題> 和文論文は 15 字以内、英文論文は 6 語以内で記す。
（例：製茶加工残さ給与の効果）

<連絡著者氏名・住所>
〒〇〇〇- 〇〇〇〇, . . . 県 . . . 郡（市） . . . 町 . . .
TEL: 〇〇〇- 〇〇〇- 〇〇〇〇
FAX: 〇〇〇- 〇〇〇- 〇〇〇〇
E-mail: 〇〇@〇〇.〇〇.〇〇

<原稿枚数> 〇〇枚
<図の枚数> 〇〇枚
<表の枚数> 〇〇枚

2. 本文の記載例: ()内は英文論文の場合

要 約 (ABSTRACT)

(ゴシック体, 12 ポイント)

製茶加工残さ給与が肥育豚の . . . (本文: 明朝体, 12 ポイント, 400 字以内で目的・方法・結果を端的に記載する)
できることが示された。

キーワード: 製茶加工残さ, . . . , . . . (5 個以内の単語を 50 音順に記す)

緒 言 (Introduction)

(ゴシック体, 14 ポイント)

緑茶はビタミン E やカテキン類を豊富に (本文)
ここに報告する。

材料および方法 (Materials and Methods)

(ゴシック体, 14 ポイント)

製茶加工残さは . . . (本文) . . . 遊離グルタミン酸とイノシン酸の分析は田辺ら (1998) の方法により抽出を行い, に準じた。

結 果 (Results)

(ゴシック体, 14 ポイント)

表 1 に製茶加工残さと給与した.....(本文).....
イノシン酸は検出されなかった.

図 2 に試験期間中の.....(本文).....有意差は見られなかった ($P > 0.10$).

考 察 (Discussion)

(ゴシック体, 14 ポイント)

本試験の結果により,.....(本文).....が確認された.

文 献 (References)

(ゴシック体, 14 ポイント)

(雑誌の場合の記載例)

Steven C, Kathryn M, Antonis D. 1994. Application of amino acid derivatization with 6-aminoquinolyl-N-hydroxysuccinimidyl carbonate: Analysis of feed grains, intravenous solutions, and glycoproteins. *Journal of Chromatography A*, 661: 25-34.

鈴木啓一・門脇 宏・日野正浩・田村勝男. 2002. 茶添加飼料給与が豚の産肉能力と肉質に及ぼす影響. *日本養豚学会誌*, 39: 59-65.

(単行本の場合の記載例)

Kauffman RG. 2001. Meat composition. In Huy YH, Nip W, Rogers RW, Young OA (eds), *Meat Science and Applications*. pp.1-19, Marcel Dekker, New York.

Peason AM and Young RB. 1989. *Muscle and Meat Biochemistry*. Academic Press, California.

阿部 亮. 2001. 新編動物栄養試験法. pp. 455-466. 石橋 晃監修. 養賢堂. 東京.

Abstract (要 約)

<タイトル>

Effects of Tea Manufacturing Residual on Carcass Characteristics and Meat Quality of Fattening Pigs

(14 ポイント, 太字で)

<著者名>

Takahiro SAKAI, Midori YASUDA¹, Kazumi TAKEDOMI¹, Hideaki OMAGARI,
Hirofumi KAWAHARA, Hideo MIYAZAKI², Hideaki SHIKIMACHI

(12 ポイント)

<所属機関名>

Saga Prefectural Livestock Experiment Station, Japan

¹*Department of Health and Nutrition Science, Nishikyushu University, Japan*

²*Saga Tea Experiment Station, Japan*

(10.5 ポイント, イタリック)

<連絡著者氏名 (電話, FAX, 電子メール) >

Correspondence: Takahiro SAKAI (TEL: +81-(0)954-45-2030, FAX: +81-(0)954-20-7000,

E-mail: sakai-takahiro@pref.saga.lg.jp)

(10.5 ポイント)

<本文>

We examined the effects of.....
.....(本文：10.5 ポイント).....

注) 和文論文は、400 語以内の英文要約をつける。英文論文は、600 字以内の和文要約をつける。

Keywords : tea manufacturing residual, . . . , (5 個以内の単語あるいは語句をアルファベット順に記す)

3. 図表について

- 1) 表の罫線は、原則として横線のみとし、必要最小限にとどめる。横罫線は最上位と最下位を太線とし、その他の罫線は細線とする。表題はゴシック体・太字で記載し、表中の文字は明朝体あるいはローマン体で記載する。表の作成例を以下に示す。

表1. 飼料イネ立毛放牧の実績

圃場番号	面積 (a)	品種	圃場生産量 (kg DM/10 a)	放牧期間	牧養力 (日頭/ha)	採草ロス率 [†] (%)
1	8.4	リーフスター	1,733	11/18-11/26	1,548	9.8
.
.
.

[†]圃場生産量に対する放牧後の残草量の割合。

Table 1 Behavioural categories

Behaviour pattern	Description
Feeding	Head extended down into the feeder
.	.
.	.
.	.

- 2) 図の説明 (legend) は明朝体あるいはローマン体で記載し、見出しのみを太字にする。以下に記載例を示す。

和文の場合：

図 1. 放牧時のタンパク代謝と体重の推移。

英文の場合：

Figure 1 Time allocation (mean + SE, n = 10) in Gifu native fowl and commercial laying hens under cage conditions.